

教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）の教育目的と アドミッション・ポリシー

(1)教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)の教育目的

教職大学院教職開発専攻は、「地域で育ち、世界に生き、地域を支える」教育に寄与することができる教師を育てることを使命と考え、そのために必要な高い資質・能力、及び人権意識を修得させることを目的とする。

i 学校改善マネジメントコース

教職経験10年程度の現職教員を対象とし、これまでの経験を学校経営という観点から整理・意味づけを行い、専門的知見に基づく高度の実践的指導力を修得したミドルリーダーとして、「現任校をよりよい学校へと改善する中心的役割を担うことのできる教員」及び、「地域の強みを活かした学校づくりに寄与する教員」を養成する。また、「自ら学び続けるとともに、周りの教職員の学びを支援する教員」の養成を目指す。

ii スペシャリストコース

現職教員を対象として、これまで教科や分野・領域の指導や実践的研究で習得してきた専門的知識や実践力をもとに、専門性を深めることにとどまらず当該教科や分野・領域の知識や考え方を教科や領域を超えて、日常から未来に広がる学びを創り出す教員を育成する。また、当該教科等はもとより、学校全体の教育課程の編成に寄与し、ミドルリーダーとして若手教員等の育成に貢献できる資質能力を高める。

なお、スペシャリストコースについては、以下の2プログラムを設定する。

- ・スーパーサイエンスティーチャープログラム-SSTP(Super Science Teacher Program)
- ・スーパーグローバルティーチャープログラム-SGTP(Super GLOCAL Teacher Program)*

※グローバルとは、グローバル(Global：地球規模の、世界規模の)とローカル(Local：地方の、地域的な)を掛け合わせた造語で、「地球規模の視野で考え、地域視点で行動する(Think globally, act locally)」という考え方です。

iii 授業実践力向上コース

学部からの進学者など、主として教職経験がない、あるいは浅い者を対象とし、学部での学習を土台として、子ども理解と確かな知識に根差し、子どもや学校・地域の実態に応じた授業を計画・展開できる「確かな授業力」を主軸とし、子どもの学びをエンパワーする学習集団としての学級を育て、子ども、保護者、教職員から信頼される教員、また、よりよい実践に向けて、学び続ける基盤と姿勢をもった教員の養成を目指す。

iv 特別支援教育コース

現職教員及び学部からの進学者などを対象に、特別支援教育に関する理解を深め、障害など特別な配慮を必要とする児童生徒一人ひとりに応じた教育が行える実践力を高める。とくに、現職教員については、児童生徒の自立や社会参加に向けたライフステージに応じた指導・支援を行うとともに、特別支援学校のセンター的機能を果たすためのコンサルテーションの専門性を向上させる。また、学校運営に寄与するために、若手教員等の育成に当たるミドルリーダーの資質能力

を高める。特別支援学級の教員は、児童生徒の指導・支援に関する専門性を高め、特別支援教育コーディネーターとして、通常の学級に在籍し支援を必要とする児童生徒への全校的対応について助言を行い、校内支援体制の構築に寄与する資質能力を高める。あわせて、現職教員及び学部からの進学者とともに、特別な配慮を必要とする児童生徒の家庭の理解、支援を行うことができる資質能力を高める。

(2)教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)のアドミッション・ポリシー

学校改善マネジメントコース、スペシャリストコース及び特別支援教育コースの現職教員

- ・熱意と誠実さをもって、教職に取り組む姿勢を有する人
- ・高い人権意識を有する人
- ・学び続ける意欲を有する人
- ・反省的实践者としての姿勢を有する人
- ・教職や教育実践についての豊かな経験を有する人
- ・円滑なコミュニケーション力を有する人

授業実践力向上コース及び特別支援教育コースの学部からの進学者

(主として教職経験がない、あるいは浅い者)

- ・熱意と誠実さをもって、教職に取り組む姿勢を有する人
- ・高い人権意識を有する人
- ・学び続ける意欲を有する人
- ・反省的实践者としての姿勢を有する人
- ・教職や教育実践についての基本的な知識を有する人
- ・円滑なコミュニケーション力を有する人